

## 第2学年国語科学習指導案

### 単元名

フォトストーリーを作って紹介しよう ～写真と文章を組み合わせる～

教材名 「小さな労働者」 (東京書籍「新しい国語2」)

### 1 単元について

佐賀県の中学2年生の実態として、平成23年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果から、「書くこと」について課題が多いことが分かった。とりわけ「取り上げた事実や事柄、課題についての自分の考えを明確にして書く」ことを問う設問で無解答率が他の設問を大きく上回っており、自分の考えの形成については、特に留意してその課題解決に取り組む必要があると考える。

生徒は1年生の「分かりやすく書こう」において、伝えたい事実や事柄を相手に報告したり、記録したりするための書き方について学んでいる。また、「根拠を示して書こう」では、相手を説得するための書き方について学習している。しかし、相手や目的に応じて自分の考えを表現する機会は実生活の中で限られており、なかなか定着が難しい。

本教材「小さな労働者」は、20世紀初めのアメリカにおいて活動したルイス・ハインという人物について書かれた文章である。過酷な労働を強いられていた子どもたちを救うためにハインが用いた表現方法が「フォトストーリー」である。「フォトストーリー」とは写真と文章を効果的に組み合わせた表現方法であり、画像と文字情報を目的に合わせて再構成したものである。ハインが自分の考えを社会に訴える手段として写真と文字情報の効果的な組み合わせを工夫したことを学べる本教材は、相手や目的に応じて自分の考えを伝えるための情報の伝え方について学習するために適した教材であると考える。

そこで本単元では、「書くこと」の学習に重点をおき、画像と文字情報の効果的な組み合わせ方を読み取り、その読み取りを生かして社会生活の中から身近な問題について呼びかける「フォトストーリー」を作ること(B書くこと(2)イ)を言語活動として設定する。この言語活動を通して、日常生活や社会生活の中から課題を見つけ、材料を基に自分の考えを表現する力を身に付けさせたい。その際、スモールステップで学習活動を明確に示したワークシート等の学習教材を用いることで、一人一人の言語能力に応じて言語活動を充実させるようにしたい。

### 2 単元の目標

- (1) 「フォトストーリー」という表現方法を生かして、自分の考えを表現しようとする。
- (2) 日常生活や社会生活の中から課題を見つけ、材料を基に自分の考えを表現することができる。
- (3) 相手や目的に応じて文章の形態に違いがあることを理解できる。

### 3 単元の言語活動

本単元では「書くこと」の力を身に付けさせるために、学習指導要領「B書くこと」の(2)に位置付けられている言語活動例の「イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと」を基に、単元に取り入れる。「フォトストーリー」を言語活動として取り入れる。このことを通して、身近な問題に目を向け、情報を集めて効果的に表現する力を育てたい。

4 単元の評価規準 ( ) 内は該当する指導事項等の記号

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
① 「フォトストーリー」という表現方法を生かして、自分の考えを表現しようとしている。	① 日常生活や社会生活の中から課題を見つけ、材料を基に自分の考えを表現している。 (ア)	1 相手や目的に応じて文章の形態に違いがあることを理解している。(イ(オ))

5 指導と評価の計画(全4時間)

次	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
一	1	1 単元の目標を知り、見通しをもつ。 2 モデル学習を行う。 3 「写真から得られる情報」を考えて箇条書きで書き出す。 4 教材文を読み、写真と文章を組み合わせた表現方法について考える。	○学習計画表を配布する。  ○モデル学習を通して、今もっている書く力を再認識させる。 ○写真と文章が情報を補い合っていて、効果的な表現につながっていることに気付かせる。	[国語への関心・意欲・態度] ① ワークシート①, ②, 観察
二	2	5 ハインがなぜ「フォトストーリー」という表現の手法を用いるのかについて考える。 6 「フォトストーリー」の文章の表現の工夫とその効果について考え、交流する。 7 ハインになりきって写真に組み合わせる文章を書く。	○「フォトストーリー」は、写真と文章を効果的に組み合わせた作品であることを再確認する。 ○ハインの文章を分析させ、表現の工夫とその効果について説明する。 ○ハインの表現の工夫を基にして、「マニユエル」の写真に組み合わせる文章を書かせる。	[言語についての知識・理解・技能] ① ワークシート③
三	3	8 自分の課題を設定する。 9 「フォトストーリー」を作る。	○ワークシート④や各自が準備した資料を基に、構想を練らせる。 ○自分の思いを伝えるために写真と文章の効果的な組み合わせを工夫させる。	[書く能力] ① ワークシート④, ⑤
	4	10 それぞれが書いた「フォトストーリー」を読み合う。 11 写真と文章の組み合わせ方や表現の工夫についてグループで話し合う。 12 単元の学習を振り返る。	○「テーマ」や「伝えたいこと」を考えながら読ませることで、書き手の思いが伝わる文章になっているかを考えさせる。 ○学んだことを振り返らせ、今後の学習や生活に生かす場面を想起させる。	[書く能力] ① 交流シート

6-1 1/4時の指導計画

(1) 目標

文章と写真を組み合わせた表現の方法について考えようとする。

(2) 展開

	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法	
				Cの状況にある生徒への手立て	
導 入	1 単元の目標を知り、見通しをもつ。	学習計画表	○学習計画表を配布する。		
	単元目標 「フォトストーリー」を紹介しよう。				
	2 写真と文章を組み合わせて、写真を基に自分の考えを書く。	ワークシート①  記入例 1・2	○5分間で取り組ませ、自分の書く力を認識させる。 ○写真を拡大したものを黒板に掲示する。 ○選んだ写真の説明と、自分の考えを発表させる。 ○記入例1, 2を用いて学習内容を確認させる。		
展 開	3 本時の目標を知る。				
	○ 文章と写真を組み合わせた表現の方法について考えよう。				
	4 ワークシート②の記入例を参考にして、「写真から得られる情報」を考えて箇条書きで書き出す。	ワークシート②	○教材文に掲載されている写真の順番を入れ替えて挿入したワークシート②を配布する。 ○写真から得られる情報があることと共に、写真だけでは情報が不足していることにも気付かせ、写真に添える文章の表現の効果について考えさせる。	[関①] 文章と写真を組み合わせた表現の方法について考えようとしている。 【ワークシート①②】 【観察】	
5 教材文「小さな労働者」を読み、写真と文章を組み合わせた表現方法について考える。	ワークシート②	○読む前に教材文の題名から内容を想像させる。 ○写真に対応する文章から得られる情報をワークシート②に書かせる。 ○写真と文章が情報を補い合っていて、効果的な表現につながっていることに気付かせる。	それぞれの写真について説明している部分を具体的に示す。		
ま と め	7 次時の見通しをもつ。	学習計画表	○次時の予告をする。		

6-2 2/4時の指導計画

(1) 目標

写真と文章の組み合わせによる効果的な表現の仕方について理解できる。

(2) 展開

	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法
導 入	1 前時の学習を振り返り、 本時の目標を知る。	学習 計画表	○本時の目標と学習の流れを 確認する。	Cの状況にある生徒への手立て
	○ ハイน์になりきって「フォトストーリー」の文章を書こう。			
展 開	2 ハイน์がなぜ「フォト ストーリー」という表現の手 法を用いるのかについて考 える。 〔手順〕 1) ルイス・ハイน์の人物 像を読み取り、ワークシ ートに記入する。 2) ハイน์が「フォトス トストーリー」という手法に込 めた願いについて意見を出し 合い、グループで話し合った 後、全体で交流する。	ワーク シート③	○「フォトストーリー」は、 写真と文章を効果的に組み 合わせた作品であることを ワークシート②で確認す る。 ○人物像を読み取るために、 仕事・活動家としての考 え・願いについて本文シー トに線を引いて個人で考え させる。 ○ハイน์の「願い」や「思い」 に注目させ、交流の際に考 えを深めさせる。 ○ハイน์の文章を分析させ、 表現の工夫とその効果につ いて説明をする。	ハイน์の生き方を読み 取るための形式段落を 具体的に示す。
	3 「スピナーの少女、サディ ー」の写真に組み合わせら れた文章を読んで、「フォト ストーリー」の文章の表現 の工夫とその効果について 考え、交流する。		①被写体の幼さ、労働の過酷 さを具体的に書くことで、 写真では写せないことを伝 えていること。 ②感情を交えず事実を淡々と 書くことで、読み手の感情 に訴えかけていること。	[言①] 写真と文章の組み 合わせによる効果的な表 現の仕方について理解し ている。 【ワークシート③】
ま と め	4 「マニユエル、5歳」の 写真と本文を基に、ハイ ンになりきって写真に組み 合わせる文章を書く。		○教科書の記述を基に、ハイ ンの表現を真似て組み合 わせる文章を書かせる。	教科書に掲載されてい ないハイน์の言葉も紹 介することで、理解を深 めさせる。
	5 本時の振り返りをし、自 己評価をする。 6 次時の見通しをもつ。	学習 計画表	○本時の学習内容を振り返ら せ、学習計画表に記入させ る。 ○次時の予告をし、雑誌や新 聞の切り抜き、写真など必 要なものを用意させる。	

6-3 3/4時の指導計画

(1) 目標

身の回りの出来事から選んだ課題について、必要な材料を集めながら自分の考えを表現することができる。

(2) 展開

	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況にある生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	○前時を想起させ、本時の目標と学習の流れを確認する。	
	○ 課題を決めて、材料を集めながら「フォトストーリー」を作ろう。			
展開	2 自分の課題を設定する。  3 「フォトストーリー」を作る。 〔手順〕 1) ワークシート④や持参した資料の写真を見ながら「テーマ」と「伝えたいこと」を書き出す。 2) 写真を3枚選び、ワークシート⑤に貼り付ける。 3) 写真と組み合わせる文章を考えて書く。 4) 推敲する。	ワークシート④  はさみのり  ワークシート⑤	○「学校をより良いものにしていくために、全校生徒の心を動かそう」というテーマで生活を振り返り、課題設定を行う。  ○ワークシート④の写真や各自が準備した資料を基に、構想を練らせる。  ○目的意識、相手意識を確認して表現する内容を考えさせる。  ○自分の思いを伝えるために写真と文章の効果的な組み合わせを工夫させる。  ○写真では伝えられない事実や思いを文章に表現させるようにする。  ○3枚の写真と文章の組み合わせで1つの表現物となることを確認する。  ○座席の近い者同士で交流させ、推敲させる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[書①] 身の回りの出来事から選んだ課題について、必要な材料を集めながら自分の考えを表現している。 【ワークシート④⑤】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どのような内容で書こうとしているのかを具体的に聞き、対話することで考えを整理させる。</p> </div>
まとめ	5 本時の振り返りをし、自己評価をする。 6 次時の見通しをもつ。	学習計画表	○ 本時の学習内容を振り返らせ、学習計画表に自己評価を記入させる。  ○ 次時の予告をする。	

6-4 4/4時の指導計画

(1) 目標

「フォトストーリー」が伝えるテーマについて、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつことができる。

(2) 展開

	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況にある生徒への手立て
導 入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	○前時を想起させ、本時の目標と学習の流れを確認する。	
	○ 「フォトストーリー」を読み合い、意見を出し合おう。			
展 開	2 「フォトストーリー」を読み合う。 〔手順〕 1) 友達の作品の「テーマ」や「伝えたいこと」を考えながら読み、交流シートに記入する。 2) 読み取った内容に対する自分の考えを書く。 3) 写真と文章の組み合わせ方や表現の工夫についてグループで話し合う。	交流シート  ワークシート⑤  交流シート    ワークシート④	○交流シートにある記述例を参考にさせ、具体的に記述させる。 ○相手が伝えたいことは何かということを考えながら読ませるようにする。  ○交流シートに読み取った内容や読んで考えたことを書かせる。 ○写真と文章の組み合わせ方や表現の工夫について、交流シートやワークシート④を基に、考えさせる。	[書①]「フォトストーリー」が伝えるテーマについて、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。 【交流シート】  書き手の思いに注目させ、引用するよう伝える。
	5 学習計画表を使い、身に付けた力について振り返る。 6 単元の学習を振り返る。	学習計画表	○本時の学習内容を振り返らせ、学習計画表に自己評価を記入させる。  ○学んだことを振り返らせ、今後の学習や生活に生かす場面を想起させる。	